PRESS RELEASE

2017 年 11 月 17 日

CA Technologies、AI 搭載のソフトウェアとインテリジェント自動化によって、デジタル・トラストを一段と強化

～新しいメインフレームのイノベーションで、問題解決にかかる時間を 5 分の 1 に短縮、
インサイダー脅威を低減し、運用経費の 25%削減が可能に～
（本資料は、2017 年 11 月 16 日 CA World '17 にて米 CA が発表した情報の抄訳です）

（2017 年 11 月 16 日、ラスベガス、CA World ’17 発）
CA Technologies（本社：米国ニューヨーク州、マディソン・アヴェニュー、CEO：マイケル・グレゴア）は本日、最先端のメインフレーム・ソリューションを発表しました。これにより企業は、パフォーマンスの問題を自動的に予測・修復し、顧客のプライバシーを保護し、敏しょう性を高め、コストを削減するためのインサイトを手に入れることができるようになります。企業は CA Mainframe Operational Intelligence、CA Trusted Access Manager for Z、CA Dynamic Capacity Intelligence を使用することで、アナリティクスと機械学習を活用してお客様の信頼値、デジタル・トラストを高めることができます。

CA Technologies　メインフレーム担当ゼネラル・マネージャ　Ashok Reddy
世界中の本番ワークロードの 68%を運用するメインフレームは、世界中の企業データの 80%を格納しており、デジタル・トラスト（デジタル時代における信頼）の基盤を築く上できわめて重要です。企業が人物を認証、データを保護し、アプリケーションの完全性とパフォーマンスを保証できるようにするには、デジタル・トラストが欠かせません。CA の新しいメインフレーム・ソリューションは、AI と機械学習が牽引するインテリジェント・オートメーションにより、広範なデータセット全体にわたる可視性を向上させます。企業は、インテリジェント・オートメーションを通じて、世代交代するスキルを管理することができます。また、安全で信頼できる環境の中で、IBM Z など現行メインフレームプラットフォーム上の安全性・信頼性・柔軟性を向上することができます。

機械学習による早期予防と迅速な解決
CA Mainframe Operational Intelligence は、機械学習と自動化の技術を利用してさまざまなパターンを捉え、動的で信頼性の高い修復機能を実行します。ユーザーは、異常検出機能を基盤とするこのソリューションにより、サービス・レベル契約（SLA）に影響が出る前に問題を早期予測し、自動的に解決することができます。

あわせて IBM System Management Facilities（SMF）Adapter を使用すると、IBM Z 環境から直接追加データを取り込み、CA 製品以外のメインフレーム・データのインテリジェンスも収集することができます。機械学習とインテリジェンスの活用において、より幅広いデータセットがより多く得られるほど予測の精度が上がるため、この機能は非常に重要です。

AIG　Enterprise Server Resource Planning & Automation 担当ディレクタ　Seth Miller 氏
当社の IT 環境は、さまざまな新しい事業プロジェクトをサポートし、規模も複雑さも増しています。私たちは、機械学習とインテリジェンスを組み込み、IT の運用を簡素化・改善し、コストをさらに削減する一方、優れたカスタマ・エクスペリエンスを提供したいと考えています。

サイバー脅威の新たな時代における信頼性を強化
デジタル・セキュリティ企業の Gemalto[※1] の最新調査によると、2017 年前半に世界中で約 20 億件ものデータ・レコードがサイバー攻撃によって紛失ないし盗難に遭いました。調査対象の 65 社において、セキュリティ侵害により株主が被ったコストは、総額 524 億ドルを超えています。

CA は、リスクを管理し顧客の信頼を維持するため、市場で唯一のメインフレーム・ソリューション CA Trusted Access Manager for Z によって、エンタープライズ・セキュリティを強化しています。これによりセキュリティ統括者は、特権付き ID でメインフレーム上のすべての活動を制限・監視することができます。企業は、新しいデータ・クラス、新しい米国・欧州の規制要件に対応する CA Data Content Discovery や CA Compliance Event Manager などの CA のメインフレーム・セキュリティ・スイートを使用して、データの管理を強化し、セキュリティとコンプライアンスのニーズを満たすことができます。

IBM Z　戦略担当バイス・プレジデント　Mark Anzani 氏
サイバー犯罪に関するセキュリティとリスクは、すべての企業で大きな懸念です。IBM Z14 と CA のソリューションを組み合わせれば、こうしたセキュリティとコンプライアンスの課題に対処することができ、さらには事業を促進するイノベーションを短期間で起こすことが可能になります。

アプリケーション・エコノミーにおけるコスト管理
企業は、CA Dynamic Capacity Intelligence 導入により、月額ライセンス料金を予測範囲内にとどめながら、SLA の目標達成、キャパシティ使用率の急上昇の回避、より適切なコスト管理を実現できます。お客様は継続的にワークロードを分析し、必要なときに必要な場所にキャパシティを動的に移行できます。IT 部門と業務部門双方が重要なワークロードを予測しながら、計画的に、確実に完了できるよう支援します。

MHB IT Consulting　Manfred Hartmann 氏
コスト削減が重要な一方で、IT 部門は重要なワークロードの SLA 目標を確実に達成する必要があります。CA Dynamic Capacity Intelligence は、業務の合理化を実現しながら、同時に重要なワークロードが必要なときにキャパシティを確保できるようにし、短期間で顧客価値を実現しました。CA Dynamic Capacity Intelligence は、コストをより正確に予測することも可能です。これによりある企業では 10%近いコスト削減を達成しました。

CA Technologiesは、CA World 17でポートフォリオ全体にわたる20種以上の技術革新と機能拡張を展示しています。これらのソリューションは、企業の将来の成功のために、これまでの技術投資をさらに進化させるだけでなく、変化への対応・適応能力を提供します。オンプレミスからクラウド、そしてその間に存在するすべてにいたるまで、競争と成功の障壁を取り除く、CAならではの業界最先端の製品、ソリューション、専門的知識を提供しています。

CA World‘17 で発表するニュース詳細は、CA World Newsroom をご覧ください。
CA World‘17 の基調講演の録画は、こちらをご覧ください。

リソース
- ビデオ:System of Trust: the new z14 platform for enriched data protection（信頼のシステム: データ保護能力が一段と強化された新 z14 プラットフォーム）
- www.mainframe.ai

※1 *The number of devastating cyberattacks is surging – and it's likely to get much worse*（「破壊的なサイバー攻撃が急増 – さらに悪化する可能性」CNBC、2017 年 9 月 20 日）

CA Technologies について

CA Technologies (NASDAQ: CA) は、ビジネスの変革を推進するソフトウェアを提供し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスをつかめるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。CA Technologies の詳しい情報については、〈http://www.ca.com/us.html〉(米 CA Technologies)、〈http://www.ca.com/jp〉(日本)をご覧ください。また、ツイッターについては、https://twitter.com/ca_japan をご覧ください。

***本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。**

この件に関する報道機関からのお問合わせ先:

CA Technologies
〒102-0093　東京都 千代田区平河町 2-7-9 JA 共済ビル 9 階
コーポレート・コミュニケーション部
TEL: 03-6272-8110　FAX: 03-6272-8115
e-mail: ca-pr@kyodo-pr.co.jp